

両国観光まちづくりグランドデザイン実現に向けた計画 概要

第一編 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて

1 策定の目的

両国観光まちづくりグランドデザインに掲げた「両国開花宣言」のもと、両国地域の豊富な資源を発掘し、磨き上げ、編集し、両国の魅力として効果的に発信する具体的な施策を示し、地域住民、事業者等と行政の協働により、川開きの賑わい、粋な文化、粋なおもてなしが感じられ、「粋に暮らし、粋に愉しむまち両国」の実現を目指した観光まちづくりを推進する計画とします。

両国地域の観光まちづくりの進め方を提示します。
両国地域の観光まちづくりを実施するための体制を整えます。

まちの発信力を高める

～両国の粋・技・心の発掘、磨き上げ、編集、発信と、積み上げ～

事業展開の考え方

3つの施策展開のテーマ「両国川開き」、「両国博覧会」、「両国棧敷」から、それぞれ「水辺の賑わいの再生と創出」、「地域資源の活用と発信力の強化」、「おもてなし気運の醸成とまち歩き観光の促進」をめざし、まちの発信力を高めるソフトを中心とした事業を展開する。
地域展開にあたっては、両国地域全体で、既存のイベントや地域の観光まちづくりの取組を踏まえ、「粋・技・心」の効果的な視点を通して発掘し、磨き上げ、編集し、発信する。

事業展開

- 事業展開01 水辺の賑わいの再生と創出
- 事業展開02 地域資源の活用と発信力の強化
- 事業展開03 おもてなし気運の醸成とまち歩き観光の促進

まち歩き環境の魅力を高める

～しっとりとした街並み、歴史ある文化、暮らしを魅せる～

事業展開の考え方

来訪者が安心して、かつ粋にまち歩きを愉しめる環境を整えていくため、まち歩き環境の素地となる「賑わい軸」、「まち歩きの拠点」、「水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン」の3つを事業展開の骨組みとし、それぞれについて、まち歩き環境の魅力を高めるハードを中心とした事業を展開する。
地域展開にあたっては、地域の特性や地域資源、回遊動線、既存の取組等を踏まえ、エリアごとに具体的な方向性を共有しながら展開する。

事業展開

- 事業展開01 賑わい軸
- 事業展開02 まち歩きの拠点
- 事業展開03 水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン

グランドデザインのコンセプトと施策展開のテーマ

両国開花宣言 ～粋に暮らし、粋に愉しむまち両国～

施策展開のテーマ

両国川開き

- 両国川開きの賑わいの再生と創出
- まちの親水性の向上
- 街並みの修景と誘導

両国博覧会

- 地域資源の活性化と賑わい軸の強化
- 江戸の粋な文化の発信
- ものづくりの伝統の継承と発信

両国棧敷

- おもてなしの演出
- 取組の底上げと連携
- まち歩きの充実と回遊性の向上

2 両国観光まちづくりグランドデザインの実現イメージ

観どころ、愉しみどころ、活躍のしどころがあふれ、粋に暮らすまちを育てていくために、地域の方々と将来イメージを共有し、両国川開き、両国博覧会、両国棧敷の3つのテーマの下、両国地域にひろがる資源を生かし、まち歩きを中心とした地域展開を進めながら、観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて取組んでいきます。



3 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画（全体フレーム）

第二編 基本方針と地域展開について

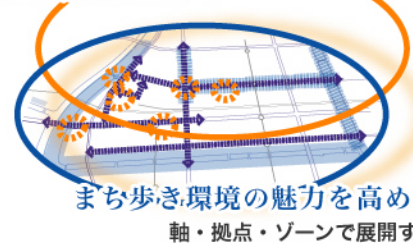
1 両国地域の現状と課題

2 基本方針と計画スケジュール

事業展開は、「まちの発信力を高める」ソフトを中心とした事業を、「まち歩き環境の魅力を高める」ハードを中心とした事業で支え、相互に連携を図りながら進めていきます。

スケジュールは、両国のまちの動向に合わせ、概ね短期（H28年度 すみだ北斎美術館開館まで）、中期（H32年度 東京オリンピック・パラリンピックまで）、長期（将来構想）の3つの期間を目標に計画します。

まちの発信力を高める
両国地域全体で展開する



3 区分特性に応じた地域展開について

両国地域の既存の取組、観光資源の集積状況、回遊動線などを踏まえ、各エリアの重点事業に取組み、両国地域全体の観光まちづくりを効果的に進めます。

また、各エリアの江戸文化観光資源をつなぐことで、両国地域全体の回遊性を高め、活性化を図ります。ここでは、両国地域のエリア特性から、それぞれの地区の観光まちづくりの方針を定めます。

- 江戸文化観光資源
- ⇒ 賑わい軸
- まち歩きの拠点
- 水辺の賑わいゾーン
- 水辺の記憶ゾーン

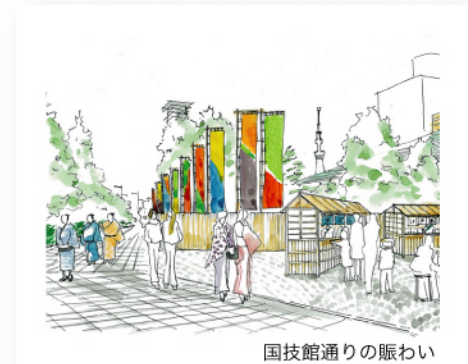


4 重点事業

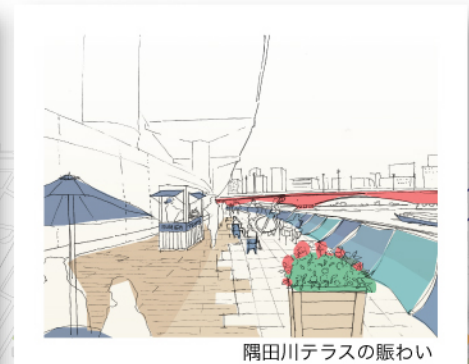
それぞれのエリアの核となる事業を選定し、そこに派生する事業について段階的に展開し、観光まちづくりを効果的に進めます。また、各エリアの取組を有機的につなぎ、両国地域全体の回遊性を高め、活性化を図ります。

A

両国のメインストリート、粋な江戸文化が薫る国技館通りの環境整備や街並みの修景



両国川開きの賑わいを再生する、隅田川テラスの環境づくり



C

すみだ北斎美術館へのアプローチ、北斎通りの環境整備や街並みの修景



すみだ北斎美術館と連携した、賑わいがあふれる緑町公園周辺の環境づくり



B

歴史文化の奥行きとひろがりを出し、地域資源周辺の環境づくり

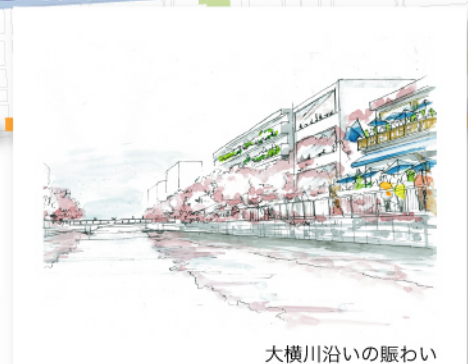


下町の暮らしぶりともつくりを伝える、馬車通りの歩行者環境づくり

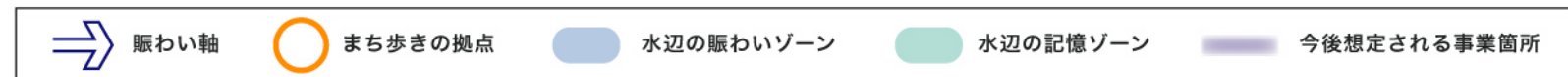


D

下町情緒と橋に重なる想いを伝える、竪川・大横川周辺の水辺の環境づくり



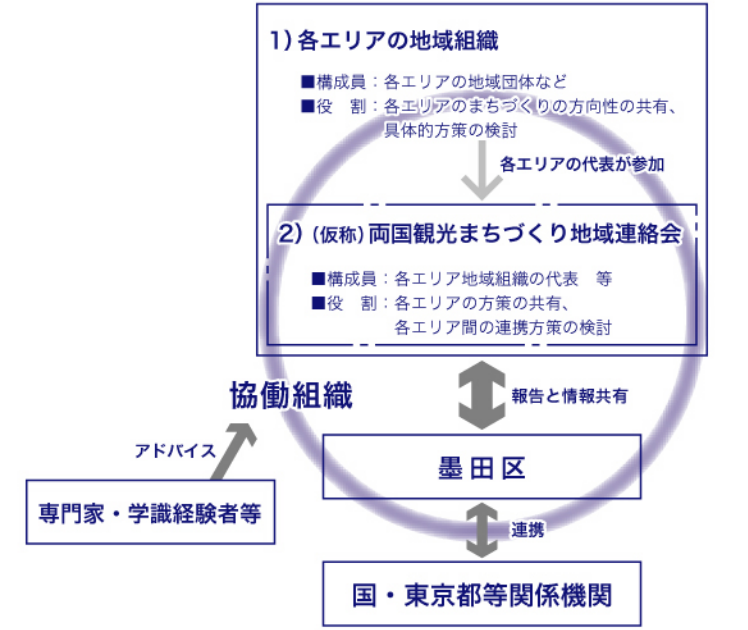
歴史文化の奥行きとひろがりを出し、地域資源周辺の環境づくり



第三編 実現に向けた進め方

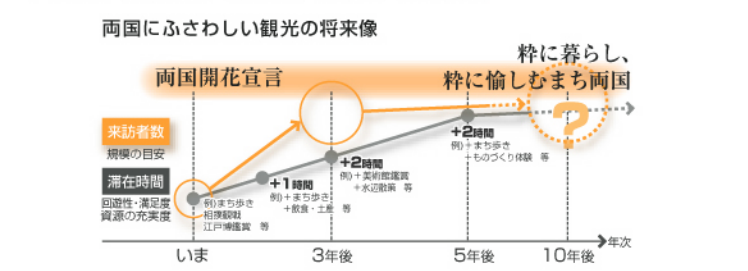
1 観光まちづくりの進め方

ランドデザイン関連事業の地域展開は、ソフト事業とハード事業の連携を図りながら、地域の方々と、取組を積み上げながら進めていきます。



2 両国観光まちづくりランドデザインの到達目標と波及

目に見えない取組の積み上げを、客観的数値によって示すことで、取組の成果を評価し、両国にふさわしい観光の規模、かたちを共有します。



両国観光まちづくりは、地域のみなさんの持続的なまちとの関わりにより、観光振興に留まらず、両国地域全体の魅力の向上につながります。

